



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

クウェイト：イラクの対クウェイト賠償

(9月21日付ダール紙)

21日付ダール紙(現地アラビア語)は、イラクの対クウェイト戦後賠償に関するクウェイトの立場について報じているところ、概要以下の通り。

1. イラク政府筋

- (1) イラク政府筋によると、クウェイト政府は、対クウェイト賠償につきイラク石油収入5%取り立てを1%に削減するとのイラク提案を検討している。同提案はイラク財務省のクウェイト訪問時に提示された、クウェイト政府職員の大多数は本件が国民議会の管轄案件であるとしている旨述べた。
- (2) また同筋は、ナーセル首相がラマダン明け祭り後のイラク訪問時に本件を議論することが期待されているとした。イラク政府は減額がイラクが望むほどではないだろうと予想しており、それはつまり削減は非常に小幅になるかもしれないということである。

2. クウェイト財務省筋

一方、クウェイト財務省筋はイラク財務省からの同提案の議論はされたものの、何の決定もされていない旨強調した。同筋は、もしクウェイト政府が減額に前向きであるとしてもそれが1%まで減額されることは決してないだろう、当該賠償はイラクの侵略によって影響を受けたクウェイト市民や組織のために使用されるものであり、クウェイト政府がイラクの肩代わりをして、影響を受けたクウェイト市民に賠償を行うなど決して出来ないと述べた。